



人形劇団

ピンク

みんなのげきじょう

# エルマーの ぼうけん



原作/R.S.ガネット

翻訳/渡辺茂男(福音館書店刊)

脚色/川尻泰司

演出/柴崎喜彦

美術/マイヤ・ペトロヴァ

音楽/富貴晴美

●先行発売 1月12日(水)~

茅野市の保育園・認定こども園・幼稚園・小中学校・高校に通うみなさんとそのご家族へ優先発売!

●一般発売 1月26日(水)~

第15回茅野市  
ファミリー演劇鑑賞

2022年2月27日(日) 茅野市民館マルチホール

①10:30開演/10:00開場 ②14:00開演/13:30開場 ※上演時間90分休憩15分あり  
※1日2回公演

入場料  
全席指定

大人 1,500円 高校生以下 800円  
ファミリー割引券(大人1人+高校生以下1人) 2,000円  
※小さいお子さんでクッションが必要な方はご持参ください。

主催:茅野市ファミリー演劇鑑賞実行委員会  
共同主催:茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造  
共催:茅野市・茅野市教育委員会  
茅野市PTA連合会・茅野市保護者会連合会  
後援:信濃毎日新聞社・長野日報社  
市民新聞グループ・エルシーブイ株式会社

プレイガイド 茅野市教育委員会 市役所4階 生涯学習課(土・日・祝日休み)、茅野市民館(火曜休み)

ご来場の皆様へのご願い 会場の際はマスクの着用、手洗い、手指の消毒をお願いします。発熱、風邪の症状がある方はご来場をご遠慮ください。入場時検温を実施します。ソーシャルディスタンスの確保や咳エチケットにご協力ください。新型コロナウイルス感染症の影響により、変更等が生じる場合がございます。

【お問い合わせ】 茅野市ファミリー演劇鑑賞実行委員会事務局(教育委員会生涯学習課内) TEL 0266-72-2101(内線 632)

# エルマーのぼうけん

原作／R.S.ガネット 脚色／川尻泰司 翻訳／渡辺茂男(福音館書店刊)  
脚色／川尻泰司 演出／柴崎喜彦 美術／マイヤ・ペトローヴァ  
音楽／富貴晴美 照明／鷺崎淳一郎(ライティング・ユニオン)  
音響効果／川名 武 振付／小野寺修二 制作／西本勝毅  
ブルガリア語翻訳／イヤセン・マズガロフ

～友情とぼうけんのものがたり～

エルマー少年は、なかよしのネコのみみから、どうぶつ島にとらわれているかわいそうな子どものリュウの話を書きました。

「ねえみみ、ぼくは決心した。そのリュウを助けにどうぶつ島にいこう。」

どうぶつ島には、ライオンやトラ、ゴリラたちが住んでいます。エルマーはリュウを助けることができるでしょうか？！



▲2018年夏、来日時紀伊國屋ホールにて

私たちの心には、エルマーがいます。彼は飛びたがっています。彼は自分の頭と心を使い、自分で考えることで、空を飛べるし、世界をもっと良い場所にできると気付いたのです。あなたにもきっとできます！

## 演出にあたって 柴崎喜彦

私がプークの「エルマーのぼうけん」に出会ったのは、今から30年以上前のこと。子どもが父親について話す語り口からスタートするお話を年甲斐も無くワクワクしながら観たことを今でも忘れません。主人公は空を飛ぶ夢を持つ少年。リュウのなかに、大好きな物、日常生活や冒険に欠かせない物を詰め込んでどうぶつ島へ向かいます。危機に出会うたびに、しなやかな心と機転でピンチを乗り切ります。

誰かのためになにかをしてあげたい。自分はこれが好きで、あれが欲しい。それが人間の根本となる欲求。人が生きる原動力となるのは、その真っ直ぐな思いなのだと思います。

現在は、垣根がなくなり大きく開かれた世界のように見えますが、様々な問題を抱え、内向きな傾向へと進む社会に私た

ちは押し込められていないでしょうか。だからこそ、子どもたちには、本来持っているしなやかな心を自由に思い切り開放してのびのびと生きて欲しいと思います。

原作の翻訳者であり児童文学者の渡辺茂男さんが「子どもの頃、実在しない生き物を信じる心が心の中に大切な椅子を作り、それらが去った後、実在する大切な人を座らせることができる」と語っていますが、子どもの頃に心を大きく羽ばたかせることが、人間形成にとっても大切な事だと思うのです。

エルマー少年のように夢を叶えようとする心、誰かのために真っ直ぐで強い思いを真摯に伝える、魅力的な舞台をお届けします。



写真／濱田英明



## 人形劇団プークとは・・・

人形劇団プークは1929年に創立し、2019年に劇団創立90周年を迎えました。「こどもからおとなまで楽しめる人形劇を！」との思いで、活動を続けてきました。

1971年には全国の協力者の力をいただき、新宿に人形劇専門劇場『プーク人形劇場』が誕生しました。『プーク人形劇場』では、プークだけでなく、国内外の人形劇公演の他、ジャンルを超えたアーティストの交流の場にもなっています。ここを拠点に、全国での公演、時には海外でも公演をしています。

プークのテレビ部門『スタジオノーヴァ』では『ざわざわ森のがんこちゃん』、『新・三銃士』やCMなどを手がけています。



動画でチェック▶



QRコードからアクセスすると、『エルマーのぼうけん』の舞台の様子を、少しだけ動画でご覧いただけます。

youtube「人形劇団プーク」チャンネルからもご覧頂けます。